

算数 解答（児童用）

1	(1) 5.99	(2) 7	(3) 0.4
---	----------	-------	---------

小数のたし算、ひき算は、位をそろえて計算します。

$$\begin{array}{r} 6.79 \\ - 0.8 \\ \hline \end{array}$$

×や÷は、+や-より先に計算します。

$$6 + \underline{0.5 \times 2}$$

先に計算します。

(4) 20	(5) $1\frac{2}{3} \left[\frac{5}{3} \right]$	(6) $\frac{1}{10}$
--------	---	--------------------

小数でわるわり算では、1より小さい数でわると、商はわられる数より大きくなります。

帯分数のまま計算できない場合は、仮分数に直して計算します。

$$\begin{aligned} 3\frac{1}{2} - 1\frac{5}{6} &= \frac{7}{2} - \frac{11}{6} \\ &= \frac{21}{6} - \frac{11}{6} \\ &= \frac{10}{6} \\ &= \frac{5}{3} \\ &= 1\frac{2}{3} \end{aligned}$$

分数を整数でわる計算は、分子はそのままにして、分母にその整数をかけます。

$$\begin{aligned} \frac{4}{5} \div 8 &= \frac{4}{5 \times 8} \\ &= \frac{4}{40} \\ &= \frac{1}{10} \end{aligned}$$

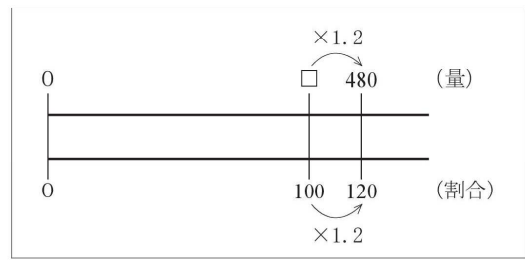
2	1
---	---

3	2
---	---

（比べられる量）＝（もとにする量）×（割合）です。
 120%を小数で表すと1.2なので、計算すると、
 $500 \times 1.2 = 600$ となり、もとにする量より大きくなります。

4	式 $480 \div 1.2$	答え 400 mL
---	------------------	-----------

右の図のように、増量前のせんざいの量の1.2倍が480mLになります。
 $\square \times 1.2 = 480$ なので、 $\square = 480 \div 1.2$ で計算することができます。

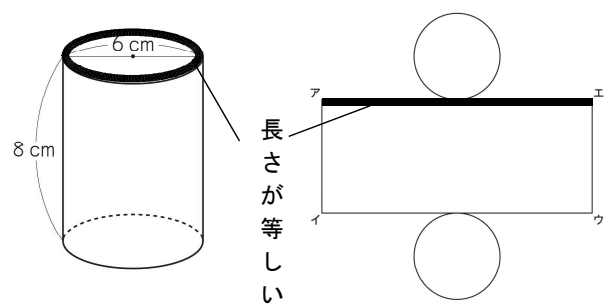


学校名	組	出席番号	氏名	
				/ 18問中

5

6×3.14

図のように、円柱の展開図の辺アエの長さは、底面の円周の長さと等しくなります。
 (円周の長さ) = (円の直径) × (円周率) なので、 6×3.14 で求めることができます。



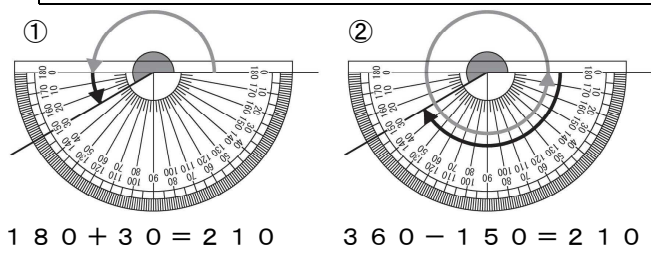
6

210度

下の①、②の2通りの考え方で求めることができます。
 ①は、 180° と 30° を合わせた角度と考え、 $180 + 30 = 210$
 ②は、 360° から 150° ひいた角度と考え、 $360 - 150 = 210$ と求めます。

7

ア



8

(1)	5	(2)	1、4
-----	----------	-----	------------

- (上底+下底) × 高さ ÷ 2 の台形の面積の公式を用いて面積を求めます。
- 対角線を引いて、(三角形の面積) + (三角形の面積) と考えて台形の面積を求めます。

9

222 cm^3

- 横にほ助線を引き、上下に立体を分けて考えると、 $3 \times 12 \times 5 + 3 \times (12 - 5) \times 2 = 222$
- たてにほ助線を引き、左右に立体を分けて考えると、 $3 \times 5 \times 5 + 3 \times (12 - 5) \times (2 + 5) = 222$
- 欠けている部分を全体から引くと、 $3 \times 12 \times (2 + 5) - 3 \times 5 \times 2 = 222$

10

460 m^3

1年は12か月なので、1か月の平均を求める時は全体を12でわります。1年間の水の使用量は 5520 m^3 なので、 $5520 \div 12 = 460$ となります。

11 (例)

12は、4と6の最小公倍数です。

6小節のリズム

					ア						ア	...
--	--	--	--	--	----------	--	--	--	--	--	----------	-----

4小節のリズム

			ア				ア				ア	...
--	--	--	----------	--	--	--	----------	--	--	--	----------	-----

問題文が複雑な時は、問題文の内容を図や表に表してみると分かりやすくなります。
 アのリズムとなるのは、6小節のリズムでは、6小節目、12小節目・・・、
 4小節のリズムでは、4小節目、8小節目、12小節目・・・です。
 この「6、12、・・・」は6の倍数、「4、8、12、・・・」は4の倍数です。
 それぞれのアのリズムが重なるのは、図のように12小節目で、これは6と4の共通な倍数の中で1番小さい倍数なので、最小公倍数といいます。